### 観光行事開催日程(平成 30 年 1 月~平成 30 年 4 月)

開催日	催 事 名	開催場所	催事内容
2月4日(日)	第9回上野の里まつり	牧野酒造・富士正酒造	蔵開き
2月24日(土)	第2回富士山平成棚田竹灯籠祭り	富士宮市原(平成棚田)	平成棚田を竹灯籠で彩る
3月4日(日)	第 68 回ますつり大会	神田川・ふれあい広場	ます釣り大会
3月18日(日)	柚野の里蔵開き	富士錦酒造	富士錦酒造蔵開き
3月31日~4月1日	桜花祭・雅楽・舞楽・能楽の夕べ	浅間大社	浅間大社桜花祭
4月8日(日)	内房たけのこ・桜まつり	内房地区	桜と菜の花、筍販売等
4月14日(土)~15日(日)	狩宿さくらまつり	狩宿	舞台公演·特産品販売等

#### 第9回上野の里まつり

2月4日(日)9:30~14:30 会場:牧野酒造 富士正酒造 土井ファーム



3月18日(日) 会場:富士錦酒造

柚野の里蔵聞き



富士山白糸平成棚田竹灯籠祭り 第68回ますつり大会 2月24日(土) 10:00~20:00 3月4日(日)8:00~12:00

会場:富士宮市原(平成棚田) 会場:神田川・潤井川(青木堰堤下流~)



内房たけのこ・桜まつり 4月8日(日)



会場:400本の桜と菜の花が彩る稲瀬川



狩宿さくらまつり

4月14日(土)~15日(日)

会場:狩宿

『るるぶ富士宮』好評配布中!

このたび JTB パブリッシングと連携して、旅行雑誌『るるぶ』の特別編集 版として『るるぶ富士宮』を発行しました。

市内の名所・観光施設・イベントなどを写真や図入りで紹介し、カラフルで わかりやすいと好評を得ています。

東京・名古屋・大阪の静岡県観光案内所をはじめ、富士宮市内の観光案内 所(観光協会・寄って宮・市役所観光課)などで無料配布しています。会員 の皆様もご活用ください。



#### 白糸の滝たより 白糸ノ滝駐車場も真っ白!

1月22日(月)の午後から富士宮市内に降り始めた雪。市街地では23日の朝まで に解けて大きな混乱はなかったかと思いますが、北部地域では積雪があり、白糸ノ滝 駐車場も真っ白になりました。

23 日朝から観光協会職員、駐車場職員で除雪を行い、午前中にはバス、乗用車が 十分停められるスペースを確保することができました。



平成 30 年 1月号 No.146 富士宮市観光協会だより

公益社団法人 富士宮市観光協会 静岡県富士宮市中央町16番1号 話 0544-27-5240 FAX 0544-26-0066 http://www.fujinomiya.gr.jp

## 世界遺産センターオープン

平成28年3月に工事が始まった静岡 県富士山世界遺産センターが12月23 日にオープンしました。

オープン前日の22日には、世界遺産 センターに多くの来賓を招いて盛大に記 念式典が行われました。

川勝静岡県知事、遠山敦子館長、宮田 文化庁長官、設計の坂茂氏、須藤富士宮 市長が壇上に上がり挨拶や祝辞を述べた あと、テープカットが行われました。引 き続きセンターの見学会が行われ、さま ざまな工夫が施されたセンターを見て回 りました。



世界遺産センターと手前に広がる水盤

23日のオープン初日には約3,200 人の来館者があり、28日までに1万人 を超える来館者が訪れました。

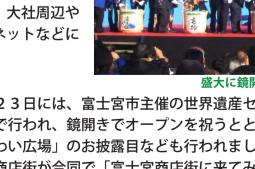
新年は1月1日から開館し、浅間大社 の初詣とともに見学に訪れる方も多く、 三が日では15,869人が訪れ、順調な 滑り出しとなっています。

水盤には富士山や世界遺産センターの 逆さ富士が見られ、多くの方々が写真撮 影を楽しむなど、まちなかでの新たな富 士山の眺望ポイントになっています。



関係者によるテープカット

昨年12月には多くのメディアやエージェントが参加し、 内覧会が行われました。センターは勿論のこと、大社周辺や 富士宮やきそばなども取材され、雑誌や新聞・ネットなどに も記事が掲載され情報発信ができました。



また、12月23日には、富士宮市主催の世界遺産センターオープン記 念祭が浅間大社で行われ、鏡開きでオープンを祝うとともに、食のイベン トや「宮のにぎわい広場」のお披露目なども行われました。

翌24日は6商店街が合同で「富士宮商店街に来てみてちょ! | を開催 するなど、官民あげてセンターのオープンを祝いました。

今後は世界遺産センターと浅間大社を中心に、観光客等のまちなか回遊 が増えることが期待されます。



宮のにぎわい広場の除幕式

#### 織田信長サミットと信長公黄葉まつり開かれる

11月11日(土)に第27回織田信長サミットが開かれました。戦国武将 織田信長公にゆかりのある全国10市町が集まり、2年に1度サミットが開か れていますが、今回は富士宮市が開催地となり、関連行事が盛大に行われました。 昨年は、富士宮市がサミット開催地となり、関連行事が盛大に行われました。

参加したのは、愛知県名古屋市、小牧市、清須市、岐阜県岐阜市、安八町、 滋賀県近江八幡市、福井県越前町、群馬県甘楽町、山形県天童市、富士宮市の 10団体です。





信長公黄葉まつり

サミットは市民文化会館で開かれ、市町首長から織田信長との関わりや 観光の取組みなどがアピールされました。

作家の安部龍太郎さんや小和田哲男静岡大学名誉教授の記念講演も行わ n、会場に詰め掛けた歴史ファンも熱心に耳を傾けていました。

また、翌12日(日)に開催された第18回信長公黄葉まつりには、サ ミットに出席した首長も武者行列に参加したほか、落語家の春風亭昇太さ んが行列に参加し、落語を披露するなど、まつりを盛り上げてくれました。 天候にも恵まれ、会場の西山本門寺は大勢の来場者でにぎわいました。

### 田貫湖まつり 夜空を彩る花火を満喫

平成29年12月17日(日)、富士宮市北部地域の活性化のため、田貫湖ま つりが開催されました。

富士宮やきそば、ニジマスなど富士宮市の食が一堂に会したにぎわい市は 多くの人を集め、和太鼓団体による太鼓フェスでは勇壮な演奏者の姿ととも に重厚感のある音が会場に響き渡りました。また、北部地域の児童・生徒た ちが北部活性化の夢を語る子供サミットの斬新なアイディアによる発表に大 人たちも真剣に傾聴し、参加者それぞれの想いを叫びながら打ち上げられた 願い玉花火は冬の空に大きな花を咲かせました。

フィナーレの花火大会では、雪が舞う中、湖面に映し出された彩り豊かな 花火の大輪が印象的だったとの声が聞かれました。



#### 第 17 回たこたこあがれ in 富士山



3D大たこと富士山

い一日を過ごしていました。

第17回「たこたこあがれin富士山」が平成30年1月14日(日)に 朝霧アリーナで開催されました。雲一つない快晴で雪を頂く富士山が青空に 映える素晴らしい景色の広々とした会場で、県内外から訪れた多くの家族連 れがたこ揚げを楽しんでいました。

会場では、全長25メートルの3D大たこを 子供達が引っ張って揚げたり、パラグライダー が上空から見事に着陸するなど子供達が楽しめ る内容でした。また、どんど焼きやたこ作りと たこあげコンテストなどのイベント、温かい牛 乳のサービスなどがあり、「遊ぶ」「食べる」「見る」の多彩な内容に来場者は楽し



子供達のたこ作り

# ○ ② ② ◆ ● 一日消防長&一日警察署長を委嘱されました

火災予防を目的とした「消防フェスティバ ル 2017」が、11月25日(土)に山宮ふ

じざくら球技場で 行われ、ミス富士 山グランプリの桑 原楓季さんが一日 消防長として委嘱 されました。



110番の日広報活 動が1月7日(日)に イオンモール富士宮な どで行われ、ミス富士 山グランプリの桑原楓 の一日警察署長の委嘱 を受け、110番の適 正利用などを呼び掛け ました。



#### あさぎり高原まつり

今回で2回目となる「あさぎり高原まつり」を10月に開催しました。 「朝霧高原」を全国に情報発信するために企画したもので、10月をま つり月間として来訪者への各種サービスを行うほか、それぞれの観光施 設でイベントを行い、協同して朝霧高原の知名度向上や魅力・イベント の情報発信などをしています。

今回は天候に恵まれずイベントが延期となったり、入り込みが少な かったりしましたが、これからも継続的に朝霧高原や北部観光の情報発 信を行います。

また、イベントに合わせて、 フォトコンテストを実施し、 16点の入賞作品が選ばれま した。

入賞作品の展示など(協会 HP参照)を通じて、朝霧高





原の魅力を発信していきます。 入賞 湖畔の夜 川口泰弘 入賞 鳥になれる場所 三井雅之 入賞 トンネルを抜け



大賞 秋の田貫湖



#### 富士と琵琶湖を結ぶ会



平成29年11月16、17日に、第27回 を迎えた富士と琵琶湖を結ぶ会の近江八幡市訪 問を行い交流を深めました。

富士山の御霊水を琵琶湖にお水返ししたほか、 NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」に関係し た彦根城の視察のほか、近江八幡市の八幡堀や 町並み散策を楽しみました。

富士宮市は近江八幡市と昭和43年8月に夫 婦都市提携し、平成30年度に提携50年(金 婚式)を迎えます。

## 柚野の里まつり

11月25日(土)に富士山縄文の 里大鹿館にて「柚野の里まつり」が開 催されました。

富士山を眺めながら、縄文時代の体 験コーナーなどで里山の自然を満喫し ました。





#### 春の蔵開き開催!



トで盛り上がる会場内には出店が多く並び、新酒を楽しむ 多くの方々で埋め尽くされ一日中賑わっていました。

1月21日(日) 富士高砂酒造の蔵開きが行われ

まちなか唯一の酒蔵ということもあり、歩いて会 場に向かう人も多く見られ、また、ステージイベン

